

感染症の脅威から身を守ろう

～新型インフルエンザから生物テロ対策まで～



2015年8月2日、中学生8名・高校生42名の方にご参加いただき、講義・実験・体験を通して、感染症を予防する方法について楽しく学びました。本学科で開催するひらめき☆ときめきサイエンスは、今年度で10周年を迎えました。10周年を迎えることができましたのも、参加して下さった生徒の皆さん、高校の先生方、講師の先生方、関係者の皆様のご支援とご協力あつての事と心から御礼申し上げます。



三橋睦子教授は、「感染を予防するためのポイント」を実験を交えながら講義しました。小児科医の津村直幹先生は、感染症医学についてわかりやすくお話されました。大坪靖直教授は、ゲームを通して、試行とばらつきの関係を検証し、感染症予防の落とし穴について考えました。



フィットテストや、ATP測定、ブラックボックスを用いて、自分の感染防御技術について評価をした後、正しい方法を学びました。



大学院生による、PPEレベルCの着脱と除染活動のシュミレーション！

初めて見る除染活動の様子に、皆さん興味深々でした。



その他にも、一類防護具の着用と身体的影響の測定、水が無い時の手洗いや歯磨き、感染症サバイバルゲームを通して、感染症にどのように備え、自分の身をどのように守ったらよいのか考えました。



ご参加いただきありがとうございました！